

高3 真の学びの態勢へ

5月29日（水）1時間目、高校3年生の授業（日本史特講）風景です。

1学期中間考査が終了しましたが、高校3年生はこれから天王山とも言える夏に向けて自らの課題を再度点検する時期になります。6月7日（金）・8日（土）には全国模試を控えています。現在の自分の力を的確に捉え、希望する進路を実現するには何をどのように取り組めばよいのかをその結果から自己分析していきます。

日々の授業はすべての基本になります。教員の熱意ある講義に生徒全員が懸命に耳を傾けています。希望進路を実現するため、また将来の自分の人生を幅広くデザインしていくため、受験科目だけではなく、これからも全ての授業を大切にしていって欲しいと思います。（本校では高校2年で文系・理系に分かれますが、文系に進んでも高校3年の最後まで数学・理科は必修で授業があります。また理系に進んでも、国語・社会は必修で授業があります。）

本校では高校2年生の修学旅行が終われば受験生である、と生徒に伝えてあります。高校3年生になり学園の実質的なリーダーを後輩である高校2年生に譲ります。高校3年生はこれまでの学園生活で刻んできた思い出を胸に、自らの未来を切り拓くため、これからさらに学びに専心していきます。我々教員も彼女たちのひたむきな努力を全力で支えていきたいと思っています。

